

平成18年度松戸市次世代育成支援行動計画実施状況

1 進捗状況

既に着手された事業は38事業のうち全体の32事業(平成17年度:29事業)で、全体の84.2%(平成17年度:76.3%)が予定どおり実施されていることとなります。

2. 平成18年度主な実施事業

子どもの成長を支援します

・ 高校生の生き方スタディー

将来の自分作りのために、地域の企業家などが高校生を対象にして、職業観や生き方などの講話を行いました。

・ 児童館活動の拡大

子どもの社会参加力を涵養するため、こども館の開設時間を拡大いたしました。

・ 小児医療体制の充実

小児の初期急病に円滑に対応するため、衛生会館内で開設している夜間小児救急診療所を市立病院内の敷地内に移設し「夜間小児急病センター」として開設しました。

・ 家庭児童相談体制等の見直し

相談体制等の強化を図るため、1係であった家庭児童相談室を担当室として位置づけ、衛生会館内の夜間小児急病診療所の跡地に家庭児童相談室を移設するなど、相談環境・体制の見直しを実施いたしました。

・ 育児支援家庭訪問サービスの実施

児童の養育について、社会的な支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状態にある家庭に、支援員を派遣し安定した養育ができるよう育児支援家庭訪問事業を実施いたしました。

・ 子育てバリアフリーの推進

子育て中の人などの移動の利便性を確保するため、松戸市交通バリアフリー基本構想に基づき、重点地区内の整備を行いました。

子育てを支援します

・ 子育てガイドブックの配布

子育てや教育、子どもの健全育成に関わるサービスを周知するために、子育てガイドブックを改訂し、市民課窓口・各支所等で配布いたしました。

- ・ **放課後児童クラブの整備**

すべての地域に放課後児童クラブが確保できるよう、学校や幼稚園等の社会資源を活用して、整備をおこなっていきます。本年度は和名ヶ谷放課後児童クラブを新たに設置いたしました。

- ・ **つどいの広場**

乳幼児を養育する保護者のストレス等を軽減するために地域の親子が気軽に集える場を松戸市女性センターゆうまつど、野菊野こども館、根木内こども館内に確保し、親子の交流や育児相談、サービス情報の提供等を実施しました

ひとり親家庭の経済的自立を支援します

- ・ **ひとり親家庭の就労支援**

ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労意欲の醸成、就労に役立つ技術等支援、就労の斡旋を実施しました。